

平成17年4月分電力需給状況

需要の概要

平成17年4月の販売電力量は、21億9千3百万kWh時、前年比104.6%となった。(16か月連続のプラス)

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、3月中下旬の気温が前年に比べ低めに推移したことなどから、前年比108.5%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用」は堅調に推移し、前年比103.4%となった。

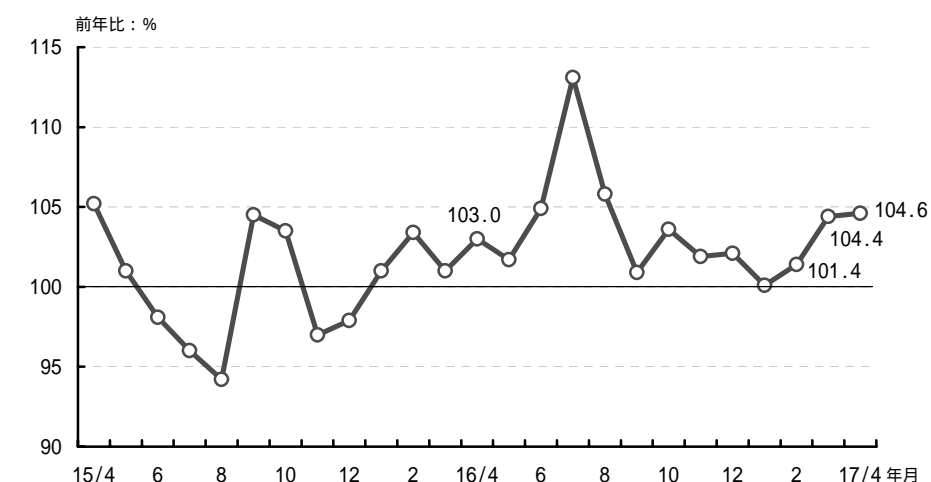
産業用の「大口電力」は、紙・パルプ、化学、機械における生産増などから、前年比102.6%となった。

需要実績

		(百万kWh時、%)	
		電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	783	108.5
	電 力	178	102.9
	計	961	107.4
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	408	103.4
	産業用電力	824	102.0
	うち大口電力	(631)	(102.6)
	計	1,232	102.5
販売電力量計		2,193	104.6
融 通		386	93.5

注1. 特定規模需要とは、特別高圧電力および高圧電力の合計で自由化の対象。
注2. 17年4月より自由化範囲が拡大されたことに伴い、16年度以前の需要区分と一部異なる。
前年比は、前年同月の実績を現在の区分に合わせることで算定した。

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



大口電力の主な産業別内訳

		(百万kWh時、%)		
	電力量	前年比		
		17/4月	17/3月	17/2月
紙・パルプ	117	106.4	100.8	97.4
化 学	132	105.0	111.3	102.9
鉄 鋼	86	100.2	98.4	95.1
機 械	126	105.7	104.4	104.3
そ の 他	170	97.4	101.7	97.9
合 計	631	102.6	103.5	99.7

(参考2) 4県都平均気温

	17/3月				17/4月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
	実 績	8.1	8.5	10.6	9.1	14.6	15.2	17.8
平年差	0.2	0.7	0.0	0.2	1.9	0.6	1.5	1.3
前年差	1.1	3.4	1.1	1.2	1.2	3.1	1.0	0.3

供給の概要

- 原子力は、前年の定期検査の反動により 前年比 107.3%
- 水力は、湯水により 前年比 81.8%
- 火力は、原子力発電電力量の増加などにより 前年比 89.6% となった。

供給実績

		(百万kWh時、%)		備 考
		電力量	前年比	
原子力	(56)	1,462	107.3	出水率 69.1% (16年4月出水率 92.4%)
水 力	(8)	220	81.8	
火 力	(36)	917	89.6	
発受電計	(100)	2,599	97.9	
その他		1		
供 給 計		2,598	98.1	

注.()内は構成比

(参考3) 各県別の需要状況

		(百万kWh時、%)						
		徳 島	高 知	愛 媛	香 川			
販売電力量計	(105.7)	512	(102.9)	365	(105.4)	764	(103.5)	552

注.()内は前年比